

回想法センター劇・2月号

平成28年 1月29日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www.piakaiso.sakura.ne.jp

寒い日が続いています

後の人の役立つように

お金は貯めるのではない残すのだと。では、貯めると残すではどう違うのでしょうか。お金をためたいと思ったらどうやって貯めますか？食事や飲み会に誘われても断ったりと不義理を重ねるようになります。貯めることばかり考えているとだんだん顔つきや人まで悪くなってしまいます。

あの世に行くときはお金は持ってゆけない。生まれたときも裸なら、死ぬときも身一つで十分なのです。私一人の贅沢ではなく世のため人のために

使えばいいのです。人のために使えば後々までお金は残って行きますと、ある落語家が話していました。

食べるに困らない程度にお金を残しながら、世間の皆

様と付き合っていくように働きなさいということなのでしょう。



少し不便な方がいい

お茶をすすりながら、見るでもないテレビをボ～と見ているよりも、病院に行かなきゃ、孫のお迎えに行かなきゃ、晩の買い物に行かなきゃと、もう何が何だかわからないほど忙しくってと、時間に追われている人の方が幸せなのかな、と思えるようになってきました。何それということでも人の役に立っている、人に必要とされていることって幸せなことだと思えるようになりました。

落語家も壁に向かって100回落語の勉強をするより、1回でもお客さんの前で高座に上がり緊張しながら話す方が勉強になるといっているように、人と対面することがいかに大事かがわかります。人と会いおしゃべりをし、人の声に耳を傾けることで頭の中で想像の翼が広がり脳にも良い刺激を与えることができます。

又、坂の多いところに暮らす人は長生きするというデータもあります。外を出歩き、人と挨拶を交わしおしゃべりすることで、身も心も老化の予防になります。とにかく便利な世の中で暮らしていますが、少し不便なぐらいが健康に良いのかもしれない

2月の予定

おしゃべりサロン

2月は会場の都合で**お休み**

3月は28日(月)14時～16時

開催場所 龍ヶ崎市役所地下食堂

認知症家族会あおぞら

開催日 2月3日(水)、3月2日(水)

開催時館 13時30分～15時まで

開場所 龍ヶ崎市民活動センター多目的室

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター

080-4209-5708 担当 赤嶺